

学クラ新聞

第20号

今回は、埼玉県立の病弱と知的の特別支援学校の2校の取り組みをご紹介します。さまざまな対応が求められる現場で、個に対応した学習に『みんなの学習クラブ』のプリントをご活用いただいています。

先生・企業・保護者との学力の指標に ～ 埼玉県立越谷西特別支援学校 ～

埼玉県立越谷西特別支援学校は、知的障害のある児童生徒を対象とした学校です。小学生から高校生までさまざまな学習状況の児童生徒の実態に合わせて、プリントを先生が準備し、配布するなどして活用しています。



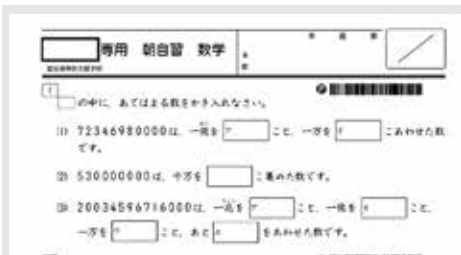
越谷西特別支援学校の

主な活用シーン

- ・個に応じた学習プリントに
- ・朝学習、家庭学習、長期休暇用のプリントに

個に応じたプリントを準備

児童生徒の学習状況が異なるため、先生は一人ひとりに合ったプリントを用意します。それぞれのプリントは、ラックに準備しておき、児童生徒が自分でとって学習できるようにしています。



長期休暇の課題として配布

長期休暇用の課題としても活用します。プリント構成が学年ごとに系統的に収録されているので、段階的に学習しやすいプリントを選んで課題作成しています。

活用してよかったこと

学力面の指標の共有に

『みんなの学習クラブ』では、学年に沿ったプリントがあるため、先生間、保護者だけでなく、企業の担当者に学力面の共通の指標を伝えることができました。

職業体験の企業と（高等部）

高等部の生徒が職業体験へ行く際に、企業の担当者から「何年生くらいまでの計算ができますか？」と聞かれます。これまでは「四則の計算まで」というような単元で伝えていましたが、プリントが一般的な学年と一致していることで、「小学5年生までできます」など、企業と共通の指標を持つことができるようになりました。

先生方の学習状況の共有に

先生間でどのプリントまでできたかを共有しています。高等部では5～8人のグループごとに課題別学習をしています。それぞれがどこまで終わったかが明確になりました。

保護者へ学習段階を明示できる

家庭学習のプリントを保護者が見た際にも、系統的かつ段階的な学習となっているので、学習の意図が伝わりやすくなりました。

先生の教材作成の負担を軽減 / 個に応じたプリント

～ 埼玉県立けやき特別支援学校 ～



埼玉県立けやき特別支援学校は、埼玉県立小児医療センターの7階にあり、同病院に入院している児童生徒が学習するための病弱特別支援学校です。そのため、転出入が非常に多く、児童生徒の学習状況もさまざまです。治療の状況によっては通学せず、児童生徒の病室へ先生が行き学習をすることもあります。そんな中で、先生方の教材学習の負担軽減、個に応じたプリント作成に『みんなの学習クラブ』を活用しています。

治療などで、急に登校できなくなった場合、先生が病室に行つて学習を行います。プリントは、それぞれの児童生徒に合わせて先生が準備します。日によっては、同時に2人の子を指導することがあり、どうしても自習の時間ができると、その時の課題としても活用しています。



自習・補習時の個に応じた課題に

転入時に実施する実態把握の確認プリントを、前学年の問題を組み合わせて作成しています。保護者からの聞き取りも行いますが、確認プリントの客観的な結果があることで、保護者の理解を得ながら、一人ひとりに合った学習内容を提供できるようにしています。

実態把握のプリントに

- ・ 学習の実態把握に
- ・ 個に応じた学習プリントに
- ・ 自習・補習時の課題提供

活用してよかったこと

先生の教材作成の負担軽減に

これまででは、児童生徒の異なる学習状況や急な補習への対応で、教材やプリントを用意するのにたくさんの時間がかかっていました。『みんなの学習クラブ』があることで教材作成の負担が大きく減りました。

先生間の急な引き継ぎに

小学校から教科担任制をとっているため、治療の状況によって、急に別の先生が個別対応することがあります。その際にも、今学習をしているプリントを見て、次のプリントを準備するなど先生間の連携に役に立っています。

入試問題の記述問題が便利

特に社会の先生からは、基本の問題だけでなく、入試問題も収録されていることが喜ばれています。基礎の問題から記述式の問題まで、幅広く活用できます。

今後に向けて

今後は、図書室にパソコンを設置し、児童生徒が主体的に学ぶことができる環境も作っていきたいと考えています。